

大阪府警察からのお知らせ

～ 全国的高速道路では「人対車」の事故が増えています。～

交通事故や車両故障等が発生した場合は、後続車両に対する安全措置を執った後に、道路外の安全な場所に待避しましょう。安易に本線車道上に立つことは、絶対禁止です。

【後続車に対する安全措置】

停止表示器材（三角表示板等）を設置しましょう。

非常電話等で警察や道路管理者等に通報しましょう。

高速道路を走行する際には、十分な事前準備と適度の緊張感が必要です。

【事前準備】

体調を整え、運行計画を練りましょう。

車両の点検（オイル・タイヤ・冷却水等）を確実に行いましょう。

積荷を点検し、落下物事故を防ぎましょう。

追越しが終了したら走行車線に戻り（キープレフトの原則）、安全速度と車間距離を確認しましょう。

【重大事故に直結する交通違反】

速度超過違反、車間距離不保持違反、座席ベルト装着義務違反、携帯電話使用等

電光表示板やハイウェイラジオで幅広く情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知しましょう。

【情報収集のポイント】

故障車・事故等の表示を確認したら、速度を落として特に前方に注意しましょう。

いつもと違う速度規制がされている場合は、近くに異常があると考え注意しましょう。

ドライバーの皆さんへ

大阪府下の高速道路における

交通事故件数 962件

死者数 11人 (前年比+1人)

件数は10月末概数

全国の高速道路では

「人対車」の事故が増えています。

23件26人 (前年比+11人)

車両故障 7件

件数は10月末概数

- ・ 燃料切れで停止していた車に後続車が追突し前方に立っていた2名がはねられる。

交通事故 6件

- ・ 交通事故で停止した車から降車した運転手が後続車にはねられる。

路上作業、その他

- ・ 故障車両のレッカー作業を待っていた運転手が後続車にはねられる。

高速道路利用者の心得

交通事故や故障等の緊急事態が発生した場合は、後続車に対する安全措置をとった後に、道路外の安全な場所に待避しましょう。

高速道路を走行する際には、十分な事前準備と適度の緊張感が必要です。

追越しが終了したら走行車線に戻り（キープレフトの原則）、安全速度と車間距離を確認しましょう。

電光表示板やハイウェイラジオで幅広く情報を収集し、進路前方の危険をいち早く察知しましょう。

高速道路でも人に注意!!

大阪府警察